



# 12月の園だより

令和元年 12月 2日

朝・夕の寒さが身に染みる季節となりました。

今月は発表会・もちつき・クリスマス会など子ども達が楽しみにしている行事が盛りだくさんです。行事を通してまた一つ成長が見られることと思います。

今年も残りわずかとなりましたが、年末年始にかけ体調管理には十分注意していきたいですね。

### インフルエンザにご注意を！

当園ではまだ罹患者は出ておりませんが、予防には十分気を付けて、疑いのある場合は病院で検査をして下さい。もし、インフルエンザに罹られた場合は学校保健法の規定に従って登園はお控え下さい。

詳細は「12月のほけんだより」に掲載しております。

保育料引き落としは12月16日(月)となっております

11月20日(水)に避難訓練を行いました。

### 【警察の巡回で指導を受けました】

上からの駐車は逆走になるのでご注意ください。又、園舎前の道路駐車も禁止です。必ず白線内に停めてください。駐車数に限りがありますので、素早く登降園していただきますようお願いいたします。

### 《ご意見・ご要望》

11月は特にありませんでした。

### SAKURA COLUMN

#### ♪体の根っこを育てる♪

“おかあさんといっしょ”の体操のひろみちお兄さんをご存知の方も多いでしょう。その佐藤弘道氏の講演会に行ってきました。佐藤氏の講演からポイントをお伝えします。

- 運動をする習慣を小さい時から身に付けることが大切。
  - 教育において、乳幼児期は根っこを育てる時期。運動においても同じで、根っこを育てる幼児期は、様々な運動体験を遊びの中で行うことが大事。
  - 身体が出来上がっていない幼児期に偏った運動をする、健康障害を起こす。
  - 一つのスポーツをさせるのではなく、いろんなスポーツ体験をすることが大事。
- 高い跳び箱を跳んだり、逆立ちで歩いたりできても、将来の運動機能向上には何ら役に立たないばかりか、身体に障害を残す場合もあるそうです。

### 【12月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
2	3 みなと わくわく広場	4	5	6	7 発表会
9	10 みなと わくわく広場 花苗プロジェクト (月・雪) 英会話教室(月)	11	12 みなと わくわく広場 絵画教室(すみれ) 体育教室(月・雪)	13 花苗プロジェクト予 備日	14 もちつき
16 太鼓指導(雪)	17 みなと わくわく広場	18 絵画教室	19 みなと わくわく広場	20 英会話教室(月)	21
23	24 誕生会 クリスマス会 みなとわくわく広場	25	26 1号認定冬休み (~1/10) 絵画教室(月)	27	28 保育おさめ

今年の保育おさめ・・・12月28日(土曜日) 来年の保育はじめ・・・1月4日(土曜日)

### 【今後の予定】

- ・1月16日(木) 誕生会
- ・2月 1日(土) 園外研修
- ・2月15日(土) 成長展
- ・1月18日(土) 育児講座
- ・3月22日(日) 卒園式
- ・3月28日(土) 新年度説明会

## ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ経験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

○最近の脳科学の研究によって、赤ちゃんは生まれながらにして、さまざまな能力を持っている、ということが明らかになりました。子どもは生後早期から耳を澄まして言葉を聞き取り、数量の判断、物のまとまりの数を即座に判断する力があります。園では、毎日のお集まりでの日付、曜日、天気、人数の確認をしたり、絵本の読み聞かせなどをして、たくさんの文字や数に触れたり、生活や遊びの中での体験を通して、認知していきます。保育者も意図的に図形や科学関係の本、文字、数などに関係する本を置いたり、実験をしたり、磁石や文字のパズル、カードなどで遊べるような環境を用意しています。小学校の学習へつながる文字・数・科学への興味・関心の基盤づくりを乳幼児期の生活の中で培っていく必要があるのです。



「6でまた三角になる!？」  
絵や文字を見て、形を  
考えながら遊んでいます



「3のときは、3回ジャンプだよ」  
と、数の認識が少しずつできる  
ようになりました



カエルの真似をして、  
10数えて10になったらみんなで  
飛んであそんでいます



読み聞かせてもらった経験が  
言葉のコミュニケーションを  
広げます



「1、2、3、4……  
あ!全部で6だ!!」

環境設定の工夫で  
生活の中で文字・数に  
親しんでいます



○子どもたちは生活の中で、目で見て・手で触って・実感して、さまざまな基礎概念を獲得し、その知識を結び付け、自ら必要な場面で、文字や数を活用します。乳幼児期に一番大切なことは、教え込むのではなく、遊びを通して、自然と文字・数に親しむことです。

早いもので、今年も後1ヵ月となりました。子どもたちにとっては、クリスマスにお正月にと楽しみがいっぱいですが、年末年始は外出や来客も多く、生活リズムも乱れがちです。また、感染症も流行る時期ですので、ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いします。

### 感染性胃腸炎が流行の時期です

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。

下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。



#### 汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



#### 幼児(保育園・幼稚園など)

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
発熱期間										
2日間	👤	👤	😊	😊	😊	😊	🏠			
3日間	👤	👤	👤	😊	😊	😊	🏠			
4日間	👤	👤	👤	👤	😊	😊	😊	🏠		
5日間	👤	👤	👤	👤	👤	😊	😊	😊	🏠	
6日間	👤	👤	👤	👤	👤	👤	😊	😊	😊	🏠

1日のうちで、発熱・解熱をともに認めた場合は、発熱期間とします。  
解熱後に再発熱した場合、最後の解熱日で判断してください。

👤 発熱      😊 解熱      🏠 登校可能

発症したら・  
発症した次の日から5日、かつ、解熱後3日を経過して、登園可能となります。

### 気を付けて！ インフルエンザ脳症

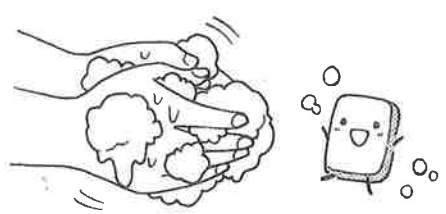
インフルエンザの合併症の一つで、主に5歳以下の子どもに発症します。発症から比較的早い時期に、けいれんを起こす、呼びかけても反応しないなどの意識障害の他に、急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動が見られることもあります。このような症状が出たらすぐに医療機関を受診してください。

冬の

# 生活ケアと注意したい感染症

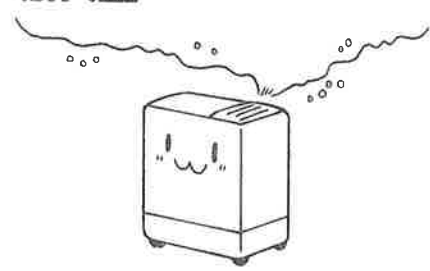
寒さが厳しくなり、空気も乾燥する季節です。特にインフルエンザやかぜ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症などの呼吸器に症状の出やすい感染症が多く見られます。予防のためにも、手洗いや十分な睡眠、室温の調節や加湿、栄養バランスのよい食事などで、健康にすごせるように心がけましょう。

## 手洗い



手洗いは感染症予防の基本です。食事の前、トイレの後、外出から帰った後には石けんをよく泡立てて、洗い残しがないようにていねいに手洗いをします。

## 加湿



加湿器を上手に使用して、湿度を保ちます。湿度は60%前後になるように調節しましょう。また、室内の換気も適度に行うように心がけます。

## うがい



かぜ予防のために水でうがいを行います。はじめに水を口に含んで、ぶくぶくうがいをし、水を吐き出します。その後、水を口に含んで、のどの奥までがらがらうがいをします。

## 食事&休養



体の免疫力を落とさないためにも、食事は栄養バランスのととのった献立を心がけます。そして、十分な睡眠時間を確保します。子どももおとなも早起き早寝で規則正しい生活を送りましょう。

## 溶連菌感染症

**症状** 溶連菌による感染症で突然の発熱、のどの痛み、咽頭炎、扁桃炎を起こします。熱は微熱の場合もあります。細かい発疹が体や顔、足先、手先などに出るかゆみを伴うことも。舌の表面がぶつぶつと赤く隆起するイチゴ舌が見られたり、首のリンパ節が腫れたりすることもあります。

**家庭でのケア** 迅速検査キットで病院ですぐに判断がつきます。感染していた場合は、抗菌薬を医師にいわれた期間(10~14日間程度)しっかりと服用し、飲み切ります。

## RSウイルス感染症

**症状** 4~5日の潜伏期間を経て、ほとんどの場合は、せきや鼻水などのかぜ症状があらわれます。乳幼児の呼吸器感染症としてはもっとも頻度が高い感染症です。6か月未満の乳児では、細気管支炎を起こして急激に重篤になることがあるので、注意が必要です。

**家庭でのケア** 兄弟姉妹でRSウイルスに感染していて、乳児がいる時は注意が必要です。感染を広げないためには、マスク着用や手洗いなどを心がけます。

参考文献 『園・学校でみられる 子どもの病気百科』内海裕美監著 川上一恵 松田幸久共著 少年写真新聞社刊ほか